

## 木曾警察署の治安懇談会開催される

～ 経験・セーフコミュニティ取り組みからの教訓について講演～

警察活動等を支援する木曾警察官友の会(会長以下 39 名)は、平成 31 年 2 月 15 日木曾町中心街にある宿「蔦屋」で治安懇談会を開催しました。懇談会メンバーは各界各層にわたる地域リーダーで、当日は木曾警察署の優秀警察職員 7 名の表彰、講演会、木曾警察署長からの活動報告が行われました。

講演は、日本セーフコミュニティ推進機構上席アドバイザーの向山が「警察と地域が密着した安全・安心なまちづくり」と題して、経験・セーフコミュニティ取り組みからの教訓についてお話をさせていただき、警察署長さんをはじめ多くの幹部の方が、苦労を共にした仲であることから、現在の活動を称え、継続した支援をお願いして参りました。



- 開催日時 平成 31 年 2 月 15 日(月)午後 4 時 15 分から
- 開催場所 木曾郡木曾町 街道浪漫 おん宿「蔦屋」(木曾福島駅の近所)
- 主催 木曾警察官友の会
- 参加者 木曾警察官友の会会員、木曾警察署幹部
- 開催概要  
優秀警察官表彰、会長挨拶、来賓祝辞、講演、木曾警察署の活動及び管内情勢報告、懇親会が行われました。
- 講演  
「警察と地域が密着した安全・安心なまちづくり」について約 50 分間  
日本セーフコミュニティ推進機構上席アドバイザー  
箕輪町セーフコミュニティ推進協議会アドバイザー  
向山 静雄

## ○講演要旨

- ・ 車社会と情報化社会の進展で、地域との繋がりがなくても暮らせる環境となり、地域連帯意識の低下により犯罪抑止機能も低下しています。このような時こそ住民の手による安全安心な活動が求められています。
- ・ 箕輪町は、長野県警察本部の紹介で、安全安心なまちづくりであるセーフコミュニティ取組みが始まり、町内 15 地区中 7 地区で地区組織も活動し、私の居住する大出地区でも組織化され、今年の 1 月 20 日設立発足式を行いました。
- ・ セーフコミュニティ活動の目標は、

地域活性化に貢献する安全安心の確保を指針として、行政には情報提供と財政支援を求め、箕輪町ではセーフコミュニティに対する活動推進補助金制度もあのですが、活動の継続性から地区自らの財政基盤確立も課題であります。

住民にとって、安全安心の取組みが「触れ合いの場」になり、介護の地域包括支援システム(2025 年目標)で期待される共助、白馬の奇跡と言われた神城断層地震での共助から「共助の基盤づくりの場」になる事を目標としています。
- ・ 高齢運転者の事故多発から免許返納取組みの対策が進み、効果が期待される場所ですが、買い物難民と返納後の足確保が課題であり、住民の助け合いがキーワードであると考えます。
- ・ 地域活性化は、地域の資源を使い、創意を生かした活動により、必要なものを自らづくり、近隣との共生が必要で、この取組みの中で人口減少に歯止めを
- ・ 地域活性化の基盤は、安全安心な地域社会であることから、継続した支援を

～以上～